

「大城小学校の米づくり伝承活動の取組」

1 学校名

和泊町立大城小学校

2 学年・人数

1年生から6年生（計39人）

3 日時・場所

(1) 活動の日時・場所

3・4年生：総合的な学習の時間（体験活動：27，探究活動23，計50時間）

1月下旬 種まき・育苗

3月8日 代かき（3・4年）

3月11日 田植え（全学年，保護者，地域の方々）

4月26日 草取り（外2回）（3・4年）

7月12日 稲刈り（全学年，保護者，地域の方々）

脱穀（3・4年）（脱穀後冷蔵保存）

10月中旬から 精米（3・4年）

11月1日 餅つき（全学年，保護者，地域の方々）

(2) 発表の日時・場所

収穫したもち米は，11月の「かごしまの教育」県民週間中に餅つき大会で使用する。ついた餅は，児童とお世話になっている地域の方々に配布している。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

米づくり（復活，わたしたちの美田）

(2) 由来

校歌に「美田（うましだ）下に見下ろして」とあるように，かつては米づくりが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から水田が姿を消す中，子供たちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから昭和60年に学校横に水田を復活させ，それ以来，毎年米づくりを行っている。

5 地域との連携の具体

活動は3・4年生児童とその保護者，PTA事業部を中心に行っている。令和3年度からは，PTAのOBや地域の方が参加する「大城小もりあげ隊」の協力も得ながら活動に取り組んでいる。技術的な面は，地域で詳しい方に助言をいただいたり，これまでの資料を活用・改善したりしながら取り組んできた。また，餅つきでは，餅のつき方や丸め方の指導を，「大城小もりあげ隊」の方々の協力をいただいている。多くの方々のご協力により，児童は貴重な体験をすることができている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

3・4年生が中心となり総合的な学習の時間で米づくりを行っている。その

他の学年は、田植えや稲刈りに協力する形で体験している。また、学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して、米づくりや餅つき大会には、保護者だけでなく「大城小もりあげ隊」の方や地域の長寿会に協力を依頼し、交流活動を行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【田植えの様子】



【稲刈りの様子】



【足踏み脱穀機を使った脱穀の様子】



【地域の方々と一緒に餅つき体験】



【地域の方と一緒に餅を丸めます】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【3・4年生児童】

- ・ 初めてのもちつきでついたり，丸めたりして楽しかったです
- ・ 今年はもちを丸めるのが上手になっていたのので，うれしかったです。

【保護者】

- ・ 子供たちと一緒にもちつきをして元気をもらいました。
- ・ 今後も稲作体験活動を続けてほしいと思います。